



2024 年 1 月 19 日

(IMDS モデルオフィス Next での公開は 2024 年 2 月 21 日、本番での公開は 2024 年 3 月 20 日です。)

IMDS Release 14.3 情報

(重要：以下の機能拡張は、**Advanced Interface(AI)**フォーマットのアップデートは必要ありません。)

1. 材料のソース：材料分類 7.1 に対するバイオベースの含有を許可

材料分類 7.1 のリリースしていない材料および新規作成されたすべての材料について、材料のソースでバイオベース材料の割合として入力できるようになります。リリース 14.3 以前は、無機材料の割合としてしか入力できませんでした。

材料分類 7.1 の計算とユーザーインターフェースは、メカニカルリサイクルとバイオベースの両方が可能な他の材料分類（材料分類 5.x など）と同じように動作します。既にリリースされている材料分類 7.1 の材料については、バイオベース材料は含まれていないものとみなされます。これらの材料については、バイオベースの割合は「0%」と表示されます。

2. データシートレポート：新しい送信先情報の項目

承認されたデータシートについて作成された PDF レポートの最初のページにあるヘッダー「1.2 プロダクト ID」の下にある送信先情報固有の情報は、以下のフィールドも含むように拡張されます：

- 図面番号
- 図面作成日
- 設計変更番号

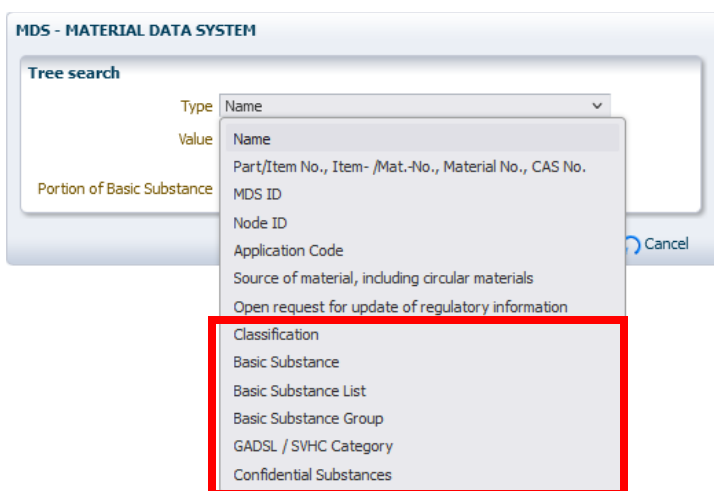
これらの項目は、送信先企業の「視点」から自社のデータシートのレポートを作成する際にも使用できます。

International Material Data System

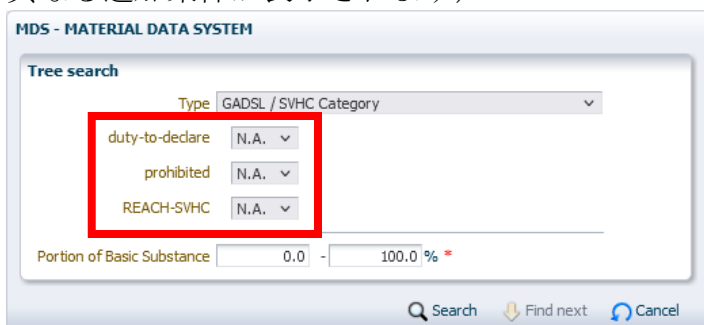
3. データシートツリー検索：新しい検索タイプ

各モジュール/データシートの構成情報画面で利用可能なツリー検索ダイアログは、以前は **Where-Used** 分析画面でのみ利用可能であった以下の検索タイプもカバーするように拡張されます：

- 材料分類
- 化学物質
- 化学物質リスト
- 化学物質グループ
- GADSL/SVHC カテゴリ
- 機密扱い物質



各検索タイプの具体的な条件は、**Where-Used** 分析 で提供されるものと同じです。例えば、"化学物質"の検索では、特定の化学物質を検索・選択するためのルックアップダイアログが提供され、**GADSL/SVHC** カテゴリの検索では、異なる **GADSL** および **SVHC** カテゴリに対して 3 つのオプションが提供されます。（他の検索タイプでは、異なる追加条件が表示されます）：

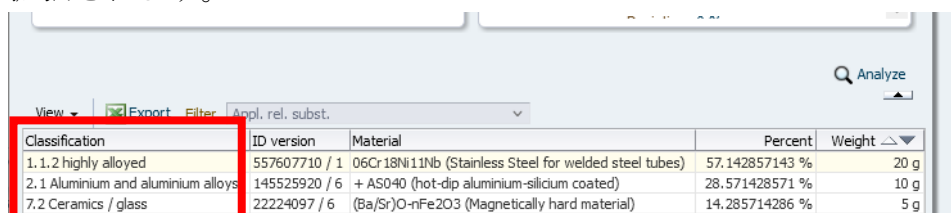


International Material Data System

Where-Used 分析の結果リストからデータシートを開くと、同じパラメータで自動的にツリー検索が開始されます。こうすることで、データシートを開いた後、検索条件に一致する最初の参照が自動的に選択されます。

4. データシート分析：材料分類の表示

各モジュール/データシートの分析画面は、材料の分析時に材料分類も表示するように拡張されます。



Classification	ID version	Material	Percent	Weight
1.1.2 highly alloyed	557607710 / 1	06Cr18Ni11Nb (Stainless Steel for welded steel tubes)	57.142857143 %	20 g
2.1 Aluminium and aluminium alloys	145525920 / 6	+ A5040 (hot-dip aluminium-silicium coated)	28.571428571 %	10 g
7.2 Ceramics / glass	22224097 / 6	(Ba/Sr)O-nFe2O3 (Magnetically hard material)	14.285714286 %	5 g

5. ポリマー材料のウィザード：難燃剤と可塑剤の新しいオプション

材料分類 5.1.x の材料の材料記号を作成するためのウィザードダイアログは、難燃剤および/または可塑剤のコードを選択できるように拡張されます。

この目的のために、既存の 2 つのチェックボックス "可塑剤 ISO 1043-3 (オプション)" と "難燃剤 ISO 1043-4 (オプション)" はドロップダウンメニューに置き換えられます。これらのメニューは、選択するコードを提供します。

- 可塑剤コードの例：ODP、PO、TCF、TCP、TOPM

- 難燃剤コードの例：10、16、18、20、23

これらのドロップダウンメニューのいずれかを選択すると、それに応じて材料記号が変更されます。リリース 14.3 以前では、チェックボックスを選択すると材料記号に "P" または "FR" が追加されましたが、ドロップダウンメニューでコードを選択すると、そのコードも追加されます。例えば、可塑剤として "DBP"、難燃剤として "52" を選択すると、材料記号に "P(DBP) FR(52)" が追加されます。

デフォルトでは、どちらのドロップダウンメニューでも何も選択されていないため、リリース 14.3 以前の未選択のチェックボックスと同じ材料記号になります。

International Material Data System

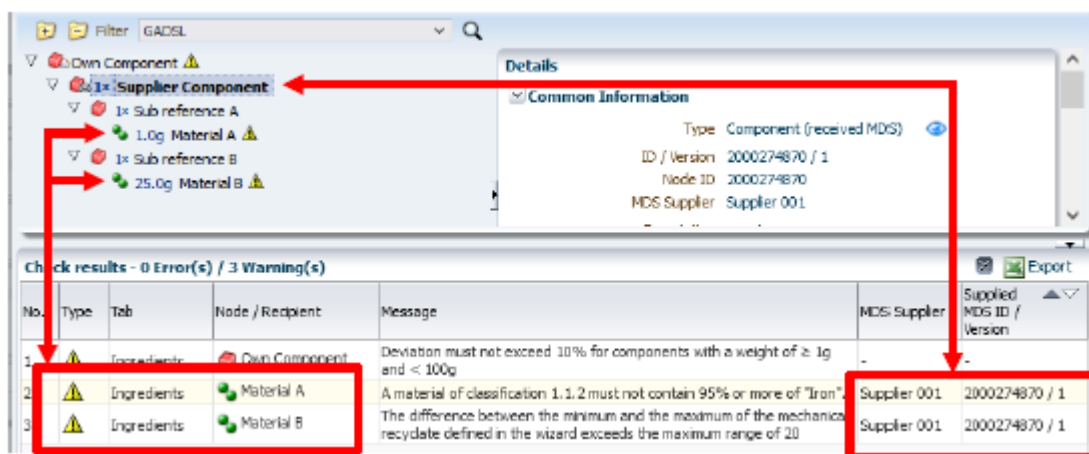
6. データシートコピー：参照バージョンを更新するダイアログ

データシートをコピーする際や新しいバージョンを作成する際に、モジュールやデータシートへの参照が自動的に最新バージョンに置き換えられることはありません。その代わりにダイアログが表示され、更新する参照と保持する参照を選択することができます。

デフォルトでは、すべての参照が最新バージョンに更新されるようになっています。このダイアログは、データシートの検索結果のコンテキストメニューなどから、手でデータシートをコピーする場合にのみ表示されます。「データシートの更新」画面を使って新しいバージョンを作成する場合には表示されません。

7. データシートチェック：トップレベルのサプライヤーとデータシートを表示

各モジュール/データシートのチェック結果には、影響を受けるデータシートの最上位の ID/バージョンとサプライヤーが含まれるようになります：



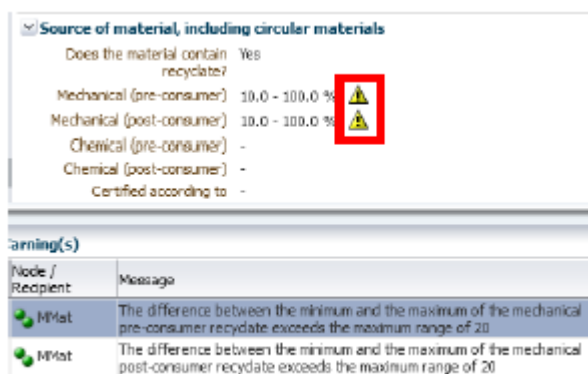
これは、表示された問題が存在しない更新バージョンを依頼するために、それぞれのサプライヤーを迅速に特定するのに役立ちます。

International Material Data System

8. データシートチェック：メカニカルリサイクルの入力範囲のみをチェック

メカニカルリサイクル率の範囲が 20%を超えるチェックは、入力された値のみを考慮するように変更されます。

リリース 14.0 で詳細なリサイクル率情報が導入される前に作成されたデータシートでは、入力されたプレコンシューマとポストコンシューマのメカニカルリサイクル率の合計の範囲が 20%を超える場合、メッセージが表示されます。



Source of material, including circular materials

Does the material contain Yes
recycle?

Mechanical (pre-consumer) 10.0 - 100.0 %

Mechanical (post-consumer) 10.0 - 100.0 %

Chemical (pre-consumer) -

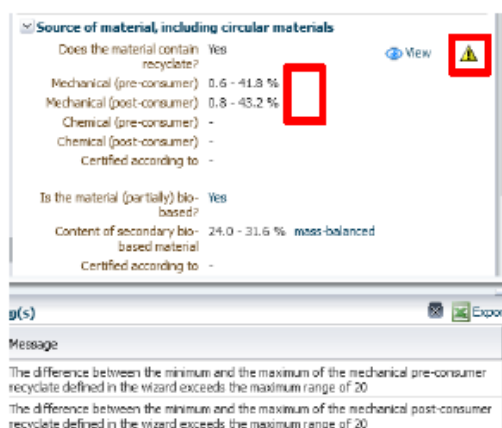
Chemical (post-consumer) -

Certified according to -

arning(s)

Node / Recipient	Message
MMat	The difference between the minimum and the maximum of the mechanical pre-consumer recydate exceeds the maximum range of 20
MMat	The difference between the minimum and the maximum of the mechanical post-consumer recydate exceeds the maximum range of 20

リリース 14.0 以降に入力されたリサイクル情報については、ダイアログに入力された範囲が 20%を超える場合にのみメッセージが表示されます。算出されたメカニカルリサイクルの合計部分はチェックされなくなります。



Source of material, including circular materials

Does the material contain Yes
recycle?

Mechanical (pre-consumer) 0.6 - 41.8 %

Mechanical (post-consumer) 0.8 - 43.2 %

Chemical (pre-consumer) -

Chemical (post-consumer) -

Certified according to -

Is the material (partially) bio-based? Yes

Content of secondary bio-based material 24.0 - 31.6 % mass-balanced

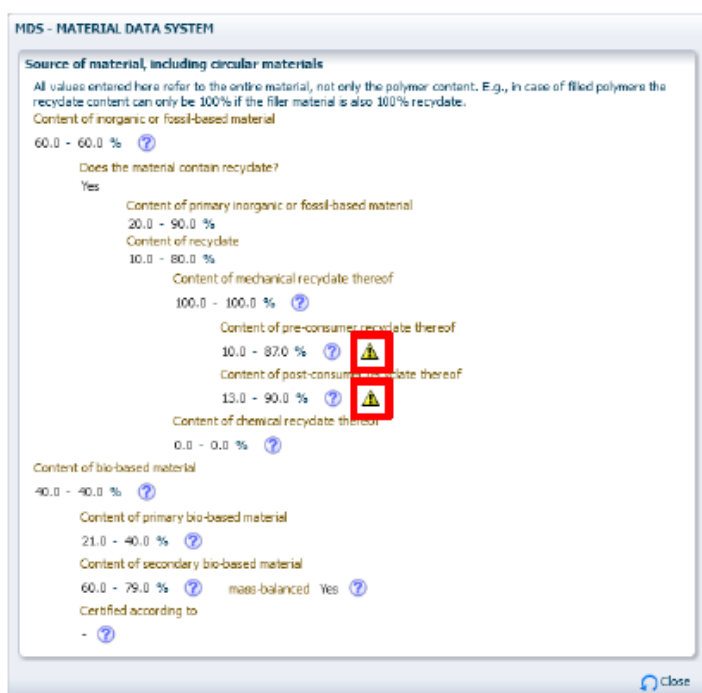
Certified according to -

g(s)

Message

The difference between the minimum and the maximum of the mechanical pre-consumer recydate defined in the wizard exceeds the maximum range of 20

The difference between the minimum and the maximum of the mechanical post-consumer recydate defined in the wizard exceeds the maximum range of 20



MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

Source of material, including circular materials

All values entered here refer to the entire material, not only the polymer content. E.g., in case of filled polymers the recydate content can only be 100% if the filler material is also 100% recydate.

Content of inorganic or fossil-based material

60.0 - 60.0 %

Does the material contain recydate?

Yes

Content of primary inorganic or fossil-based material

20.0 - 90.0 %

Content of recydate

10.0 - 80.0 %

Content of mechanical recydate thereof

100.0 - 100.0 %

Content of pre-consumer recydate thereof

10.0 - 87.0 %

Content of post-consumer recydate thereof

13.0 - 90.0 %

Content of chemical recydate thereof

0.0 - 0.0 %

Content of bio-based material

40.0 - 40.0 %

Content of primary bio-based material

21.0 - 40.0 %

Content of secondary bio-based material

60.0 - 79.0 % mass-balanced Yes

Certified according to -

Close